

令和2年度 研究主題 自分の考えを深めることができる児童の育成
～国語科「読むこと」の学習を通して～

第5学年 国語科

単元名 伝記を読み、自分の生き方について考えよう
教材名 やなせたかしーアンパンマンの勇気(光村図書5年下)

単元の目標 文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。

【本時のめあて】

伝記から一文を選んで、自分と結び付けて考えを書こう。

【課題設定の工夫】

自分が選んだ伝記の中から一文を選び、自分の考えを書くという課題を設定することで、伝記を読む必要感や必然性をもたせる。



【考えを深めるための工夫①】

「感動メモ」を活用することにより、多くの文の中から自分の心が一番動かされた一文を吟味することができる。

【考えを深めるための工夫②】

「わたしが選んだこの一文!」を書くことで、文章を読み理解したことに基づいて、考えをまとめる力が身に付く。



一選んだ人物
レイナエル・カーソン
二心が動かされた一文
人間は、いたって、大切な地球をこんなひどいことができるの
で、どうか、すべての生物は複雑な命の網で結ばれて
いる。自分が取り入れたこと
三自分の人生に取り入れたこと
この一文を讀んで、大切な地球「複雑な命の
つながりの網」について深く考えさせられます。
たしかに考えてみると、大切な地球を人間は地球
温暖化や環境汚染などを自分自身でぎざづけ
ています。それを「めつ」と言、たレイナエルは尊敬
心を込めて、この一文を選びました。
私は、「複雑な命のつながりの網」とはど
ういうことだろうと思ひ、考えてみました。すると
小さな虫や動物も豊饒で殺したりしてい
ると思ひました。小さな動物の命も大切にすなは
なり。

文章モデルC

文章モデルB

文章モデルA

【評価（見取り）
の工夫】

教師が文章モデルA・B・Cを作成することで、どのような児童の姿が「深い学び」であるか明確にすることができる。また、児童の自己評価の視点にもつながる。

一選んだ人物
西郷隆盛
二心が動かされた一文
ビロ島へなべされて、吉え助はすぐ島ワ
人たらしなふくなりました。
三自分の人生に取り入れたこと
西郷隆盛は若いころ、吉え助といふ名前です。吉え助は
「吉」つまりは日本が、たぬと考へ、奉公を断りました。
それによつて、吉も島流しにあひました。全く知りない
土地へ流されたにも関わらず、すぐに島の人と仲良ぐ
なることができたので、吉え助は、この文を選びました。
私は人見知り、初めて会ったと、仲良くなる
ことができません。クフスかえり時は、新しい同級生に
なつた子に話しかける勇気がありませんでした。今後は、
西郷隆盛のように、初めて会った人にも親切に接し、
信頼関係をすぐに築ける人になりたいです。
自分と結び付けていないが、
経験は書いていない
今後は、西郷隆盛のように、初めて会った人にも親切
に接し、信頼関係をすぐに築ける人になりたいです。
自分と結び付けていない
私は西郷隆盛が流された島に行つてみた
思ひました。

【○成果と▲課題】

- 自分の選んだ伝記を読むという課題設定をしたことで、学習の見通しをもち、意欲的に取り組むことができた。
- 「わたしが選んだこの一文!」で読み取ったことと自分を結び付けて書くことで、考えを深めることができた。
- 文章モデルの作成により、評価規準が明確になった。
- ▲学習を深めるために、様々な伝記を読むことが今後にも必要になる。
- ▲質を高めるために、ねらいをもって読み合う時間を設定するとよい。

